

不定期刊

きんきん新聞

「きんきん新聞」第3号
2010年(平成22年)8月30日発行
発行:(株)中井英策商店
☎(0142)24-2934
メルアド kinki@poppy.ocn.ne.jp



アンテナショップを出店したさくら百貨店仙台店

キンキのいずし東北進出へ

いずし文化の聖地へ挑戦

仙台に初の直営店、物産展出店も

北海道と並んで「いずし」文化が定着している東北に初進出……。

中井英策商店は、このほど東北最大都市、仙台市内のさくら百貨店仙台店内に初のアンテナショップを開店、本格的な東北進出を果たした。また、この秋九月、十月には青森県弘前市と仙台市内の百貨店で開催される「北海道物産展」に出店することが決定しており、いずしも東北での販売活動は創業以来初の試みだ。「いずし文化が根付く東北地域で当社のいずしがどこまで受け入れられるか楽しみ」と及川社長は意気込む。津軽海峡を渡る「キンキのいずし」の新たな挑戦が始まる。



三枚おろしにしたマツカワを漬け込む



美味しく漬け上がった「マツカワイずし」

中井英策商店は、このほど宮城県仙台市内のさくら百貨店六階に東北管内で

は初の一坪直営店舗を出店した。この店舗は、今年四月に道内千歳市内にオープンした「千歳楽々市場」のショップに次ぐ当社としては二番目の店舗で、千歳の店舗と同じ運営会社が展開する

九月十六日からさくら野弘前店

「薬市楽座」の仙台店としてオープンした店舗に当社も出店を行ったもの。

店舗は、東北最大の都市、仙台市内JR仙台駅前の百貨店さくら野百貨店の六階に展開する「仙台楽市」内の一角に当社の販売スペースを設置したもので、店舗面積僅か一坪の小さなアンテナショップ。販売商品は、春・夏期間が「キンキの中骨詰詰」「キンキカレー」などの常温商品で、秋・冬期間は当社の主力商品「キンキのいずし」などの販売を行う予定だ。

一方、物産展も今年秋は東北で初めて青森県と宮城県で実施する。九月十六日から、青森県弘前市のさくら野百貨店弘前店で開催される「さくらの美味セレクション・北海道物産展」に初参加する他、十月には仙台市内の藤崎百貨店で初の「北海道物産展」に参加出店する。

幻の高級魚 マツカワがいずしに

秋の物産展でデビュー決定

幻の高級魚「マツカワ」がいずしに……。脂ののった白身が絶品と言われ、刺身で食べると食

通もうなる高級カレイの「マツカワ」のいずしの加工研究を進めている中井商店は、課題だった肉厚の皮の処理などを含めた課題を克服することに成功、「マツカワイずし」の開発に成功した。

これは、地元伊達産の素材を使った加工品の研究開発を進める中井英策商店が

伊達市にある北海道栽培水産加工研究センターで稚魚を養殖し、太平洋に放流する養殖事業を行って資源の拡大を図っている「マツカワ」に注目、いずしへの加工研究を進めてきたもの。マツカワは、カレイの一種で肉厚な身は脂がのって刺身にする絶品と言われている高級魚だが、乱獲で資源が枯渇、道が中心となっており、数年前、稚魚の放流で資源の復活を目指している。

当面はイベント限定販売へ

私が作ってます!!



(株)中井英策商店
生産部主任
小野悦子さん

当社に勤務して今年で早や10年目のベテランの域に達した小野さんです。家庭ではお二人の子供達と優しいご主人に囲まれた主婦ですが、工場では常に厳しい目を光らせています。「お客様の喜ぶ顔を想像しながら作業しています」と小野さん。

「キンキのいずし」でお馴染みの(株)中井英策商店の近況や、新商品情報などをお伝えする「きんきん新聞」が創刊しました!!この新聞は、中井英策商店、「キンキのいずし」などを愛して下さるお客様全ての方々への情報発信の為の新聞です。どうか、見てやって下さい!笑ってやって下さい!!
(株)中井英策商店 きんきん新聞編集室



日比野光敏先生

すし博士と交流

伝統食文化を守って!!

当社の取組みを応援

寿し博士と交流へ・・・交流を始めた。日本が誇る寿しの文化を調査研究する日本の第一人者として知られる名古屋経済大学短期大学の日比野光敏教授と中井英策商店が一人者で、静岡県静岡市に

オープンした「すしミュージアム」の監修も行っていい。中井商店では、現在この秋完成を目指して同社のインターネットホームページのリニューアルを進めており、新しくなったホームページ上で、いずしの歴史などを紹介する「いずし二博物館」(仮称)の開設も予定していること、日比野先生の学説を引用する許諾を受けると同時に、相互研究の交流を申し込んだもので、これに対して日比

野教授も手紙で「我が研究がお役に立てるなら嬉しい」と快諾、合わせて「伝統食が相次いで消えゆく今日、いずし文化が未だに健在な北海道は大好きな土地。御社の取り組みにも敬意を表します」とエールを贈っている。

中井商店の及川社長は「日比野先生の激励を頂いて、益々伝統的食文化の普及に意欲がわいてきた。あらゆる手段を通じていずし文化を世界中に広めていきたい」としている。



開発室内で作業する及川社長

この春から、改装を進めていた中井英策商店工場内の改装工事がこのほど完成した。希望の部屋にしたい(及川社長)と胸を膨らませていた。

これは、中井商店が現在進めている新商品開発に係る作業の拠点となる施設

秋の物産展目前に

9月から2か月にわたりキャラバン

イベント	会期	会場
全国美味いもの展	9月16日～22日	帯広藤丸百貨店
札幌オータムフェスト	9月17日～20日	札幌大通公園西8丁目
北海道物産展	9月17日～26日	さくら野百貨店弘前店
だて物産まつり	10月9日～11日	伊達歴史の杜公園
全国物産展	10月13日～18日	西武百貨店旭川店
北海道特別催事	10月15日～18日	東京どさんこプラザ
全国美味いもの展	10月20日～31日	丸井今井函館店
東胆振物産まつり	10月22日～24日	苫小牧 EGAO
秋の大北海道物産展	10月22日～28日	藤崎百貨店仙台本店
全国美味いもの展	11月2日～9日	丸井今井札幌本店
北のアメ横札幌2010	11月19日～21日	アクセスサッポロ



伊達マルシェイン・サッポロフアター会場

道外含め史上最多に

新製品引揚げ各地に登場

味覚の秋の訪れを告げる「秋の物産展」ツアーが間もなく始まる。これは、道内をはじめ全国各地の百貨店や量販店、イベント会場などで開催さ

れる秋の物産展に当社も参加、九月中旬から十一月中旬までおよそ二ヶ月間の物産展ツアーが始まる。今年の秋は、九月十六日から始まる帯広藤丸百貨店の全国美味いもの展を皮切りに、翌十七日からは、札幌の秋を告げる一大イベントに定着した「札幌オータムフェスト2010」に出店、さらに同日には津軽海峡を渡り、初の青森県出店となる弘前市さくら野百貨店で開催される「さくら野の美味セレクション・北海道フェア」に初参加する。

また、地元伊達市では、市内大窪区で農園を開業して話題となっている国民栄

誉賞のマラソン金メダリスト高橋尚子さんが来ての「秋の大収穫祭・Qファーム祭り」が九月二十五、二十六の両日開催され、当社も出店の予定となっている。さらに、十月に入ると、地元伊達市の大型イベント「第二十八回伊達物産まつり」、旭川西武百貨店、東京都内の人気道産品ショップ「どさんこプラザ」にも初出店が決まっているほか、東北一の大都市、仙台の藤崎百貨店での北海道物産展にも出展が決定している。

味覚の秋はもう目前だ。

9月17日から オータムフェスト 札幌大通に出店

札幌に味覚の秋の訪れを告げるイベント「オータム

フェスト2010」に伊達市も出店することが決定した。

このイベントは、毎年秋の九月に全道各地の「美味いもの」が札幌大通公園に集結、全道各市町村のテナントが立ち並んで一村逸品が販売される催し。

今年も、九月十七日から二十日までの四日間、札幌大通公園八丁目の特設会場で催されるもので、当社も地元伊達市は、一昨年に続いて二年ぶりにテナント二小間の参加となる。

伊達市からは、中井英策商店の他に、ジャンボ豚串のレストラン「こだま」、伊達納豆、J.A.にて、伊達市観光協会などが出店する予定で、当社は主力の「キンキのいずし」の他に、新製品「炙りホタテのいずし」、「手作りイカ塩辛」なども販売する予定となっており、販売に当たる当社スタッフや伊達市職員なども地場産品のPRに張り切っている。

障害者と共生社会を

当社社長が道地域へ推進委員

道は、障害者と健常者がともに手を取り合って住みやすい町づくりを進めようという「北海道地域づくり推進委員会」活動を行っているが、今年の胆振地域の委員に中井英策商店の及川社長が、今年度の胆振地域の委員に中井英策商店の及川社長が選任され、このほど胆振支庁において今年第一回目の会議が行われた。

この委員会は、障害者であっても住みやすい町づくりを進めようと、道内各地の障害者団体や関係者、雇用する立場の企業経営者

長が選任され、このほど胆振支庁において今年第一回目の会議が行われた。また、会議では当社及川社長が「障害者の仕事ぶりから我々健常者が学ぶ機会も多い。我々経営者も意識改革が必要だ」とし、行政の支援を訴えた。

の準備を進めていたもので、現在の同社工場の一部を改装して研究開発室を設けたもの。部屋からは、噴火湾や遙か駒ヶ岳なども一望できる正にオーシャンビューの景観も自慢。僅か八畳の小さな部屋だが、「ここから未来のヒット商品が生まれる。希望の部屋にした」と(及川社長)と胸を膨らませていた。

ヒット商品誕生へ 開発室完成稼働

この春から、改装を進めていた中井英策商店工場内の改装工事がこのほど完成した。希望の部屋にしたい(及川社長)と胸を膨らませていた。

これは、中井商店が現在進めている新商品開発に係る作業の拠点となる施設

次号の「キンキン新聞」第4号は、十一月中旬発行予定です。秋の物産展の状況や、新製品開発ニュース当社スタッフ紹介など、面白記事満載でお届けいたします。お楽しみに。なお、記事内容などについてお問い合わせは遠慮なく当社までお寄せ下さい。